



つい先日まで「暑い!」「暑い!」と言っていたのに、ちょっと肌寒くなったなどと思ったら、いきなり冬になってしまいました。本当は、少しずつ気温も下がっていたし、これまでも12月になれば雪が降っていたのですから、当たり前と言え、当たり前なのです。しかし、自分の気持ちの準備が追いついていない、そんな気持ちです。

ここから始まる長い冬…。冬は春への準備の時であると思えば、何ヶ月か後にくる春を期待し、この長い冬もそれほど辛くないのかもしれないかもしれません。春の代名詞とも言える桜が咲くためには、春の暖かさだけではダメで、冬の寒さがあってこそ綺麗な花を咲かせてくれるのだそうです。植物が花をつけ、動物は活動しはじめ、生命を躍動させる春。そのためにも、「冬に耐える」ことが必要なのです。一時的には、冬の寒さに屈するように見えていても、その耐えた力をバネにして、高く強く飛躍することができるのです。

人間の生き方も同じではないでしょうか。自然に春夏秋冬があるように、人間にも春夏秋冬があり、今が冬ならば、次に必ず春が来るはず。春の訪れを楽しみに、今をどのように過ごすのか、今一度考えてみたいと思います。

## 覚えておくと便利な「進路指導に関することば」④



今年度も残すところ3ヶ月となりました。高等部3年生にとっては、「社会人スタート」のときが近づいてきています。今月は卒業へ向けた準備として、2月～3月に高等部3年生全員を対象に行われる「移行支援会議」について説明します。

小学部、中学部の児童生徒のみなさんは、少し先のことになりますが、高等部を卒業する時には、みなさん自身もこの会議に参加することになりますので、ぜひ読んでみてください。

### 移行支援会議

移行支援会議とは、文字通り、学校から卒業後の生活へと移行する橋渡しとなる大切な会議です。卒業後の本人・保護者の願いを実現するための情報交換、支援内容の確認、支援についての役割分担を確認していくことを目的としています。進路先への引き継ぎだけではなく、卒業後の生活全般に目を向け、生徒の「願い」を関係機関で支援していくための会議です。

### 会議への参加者

本人及び保護者、進路先、相談支援機関、市町村福祉課、他関係機関、ハローワーク(一般就労、就労継続支援A型のみ)、学級担任及び進路指導担当者

### 会議で確認すること

勤務時間、休憩、通勤方法等の確認等(一般就労の場合)  
利用開始日、利用時間、送迎、給食等の確認等(福祉サービス利用の場合)  
福祉サービス手続きや年金、手帳等の説明等  
相談支援機関からの支援についての説明及び確認事項等





# 課題もクリアすれば強みになる！



高等部の後期産業現場等における実習も無事終了し、高等部3年生は、進路を選択し決めていくとても大切な、そしてデリケートな時期になりました。「〇年後には、社会人になって働くんだ!」と意気込んでいる生徒、「よくわからない〜」と進路選択をまだ自分事として捉え切れていない生徒さままで。さまざまなのですが、みんな高等部3年生になると進路選択を迫られるのです。自分自身が高校3年生だった時は、将来へのフワフワとした期待感をもちながらも、いくつかの選択肢を目の前にして、決めきれずにいました。大学へ入学してからも、常にいくつかの選択肢をもって岐路に立っていたような気がします。本校に在籍している生徒たちにとっても、選択しきれない場合には、「就労移行支援」などの福祉サービスを利用して、就労へ向けてのトレーニングを積んでもいいのかもしれないと思うこともあります。けれども、選択する時期を先に延ばしても、今、目の前にある課題にはしっかりと取り組んでおかなければ、のちのち大変な思いをすることになるでしょう。今月は、実習先や進路先から、「こんなこと、困ってます!」とお話のあったことを紹介していきたいと思います。

## 更衣室でのできごと

- ・出勤後、更衣室で着替えをする時に、ロッカー前の床に脱いだものが散乱しています。周りの人たちも、着替えの時にAさんのロッカーのところは避けるようにしています。
- ・出勤後、作業服に着替えています。T シャツの袖や首周りから下着がはみ出ていることがあります。T シャツの首周りが伸びていることもあり、社会人としては身だしなみがいいとは言えませんね。



## 勤務について

- ・休憩時間は、しっかり休んでいます。時計を確認して自分から作業に戻ることはできていますが、午後の作業が始まってすぐに、トイレへ行くことが多いです。休憩時間内にトイレへ行くよう伝えているのですが、休憩時間は他の利用者さんと話をするのが楽しい様子で、なかなかトイレへ行こうとしません。
- ・仕事が忙しい時期に、残業をお願いしても、30分の残業を受け入れてもらえません。自分の勤務終了時刻にこだわりがあるようです。他の従業員さんは残業しているのに、彼一人が先に帰ってしまいます。最近、他の従業員から、どうして彼だけ先に帰るのですかという声が出始めました。
- ・(シフト制勤務の会社) 前の月に、休みたい日の希望を取っているのですが、シフトが決まってしまってから、突然お休みをもらいたいと言われました。しかも5日間もです。5日間の連続休暇は会社としても非常に困りますが、何よりも突然休まれると、お休み予定の人に出勤してもらうなど、穴を埋めなければならず、とても困りました。
- ・休むことが多いです。理由を聞くと、頭痛や腹痛ということが多いのですが、次の日話を聞くと、午後には元気になって買い物に行ったなど、ちょっとの体調不良だということが多くみたいです。だんだん、あてにできないなという雰囲気は周りの従業員の中でも出てきています。



## 作業について

・まだ働き始めて1年経たないので、仕事でミスをすることがあります。ミス自体は、少しずつ覚えて慣れていけばいいので気にしていませんが、ミスしたことを反省している様子が見られず、周りが引いています。特に、「ミスをして報告をした」からいいでしょうという雰囲気が相手に伝わってしまい、トラブルになりそうです。

★保護者に困っていることを伝えたところ「障害者だから仕方ないでしょう」と言っており、改善が難しそうに困っているという話もありました。

## 人間関係について

・本人とは部署が違うのですが、ちょっと顔が厳しい人や、口調の強い人に対して、必要以上に意識したり、抵抗感を示したりすることがあるようです。そのため、昼休憩の際に、その人と同じところで休憩を取りたくないから、あの人の休憩時間を変えてくれと言われました。本人とは一切関わりがないので、どうしたものかと困っています。

・仕事上のことで注意され、その後、その人とは話をしないようです。相手は挨拶もしてくれなくなったと困っていました。注意されてトラブルになるのであれば、注意もできません。学校ではどうだったんですか？

## その他

・卒業後、彼氏ができたようです。家に帰ってから、夜遅くまでLINEでやりとりをされていて、寝不足状態で勤務していることも多くなりました。また、勤務中に携帯をもってトイレへ行き、30分近く出てこないこともあります。社会人なので、携帯を持ち歩くことについては、ダメとは言いませんが、仕事なので、私用のやりとりは注意しているのですが、返事だけで、直そうとしません。

・働き始めて半年が経ちます。毎年給料として、通帳にお金が振り込まれるのですが、最近、お金の使い方が荒くなってきているようです。現金でのやりとりだけではなく、電子マネーやクレジットカードなど、実際に目の前でお金のやり取りをしないせいか、使っているという感覚が希薄なのかもしれません。使いすぎて、生活できなくならないか心配しています。

これらの、実習先や進路先からの話は、社会人になると在学中とは違うよね。大人の世界って難しいね・・・と単に社会人としてのギャップの話では済まされないのではないのでしょうか。

例えば、更衣室での着替えも、学校や家で着替えをする際に、荷物を広げずにコンパクトに着替えをする習慣をつけておけば、課題はクリアできます。Tシャツの下からのぞいている下着も、そもそもTシャツの下から見えないデザイン(ランニング型など)にすることで解決できるのではないのでしょうか。

全ての課題をクリアすることはできないかもしれませんが、今から、一つずつ課題となりそうなことに意識的に取り組んでいくことで、課題はいつしか課題ではなくなり、本人の強みになるのではないかと思います。強みを増やすということは、ゲームで言うとアイテムを身に付けるというイメージに近いかもしれません。

卒業までの見通しをもち、今から一つずつアイテムを身に付け、素敵な社会人を目指しましょう。





## 事業所紹介②



今月は、五所川原市内に新しく開設となった就労継続支援 B 型事業所 CocoRa (ココラ) をご紹介します!

雪が降る、11月の末、事業所開設の内覧会へお邪魔しました。事業所のすぐ近くには、「立佞武多の館」があり、駅前通りから一本入っただけの、交通の便のととても良い場所にありました。



「立佞武多の館」

Q1:「CocoRa」はどこにありますか?

五所川原市大町にあります。大町のバス停から歩いて2分ほどです。

Q2:「CocoRa」とはどういう意味ですか?

ココロが楽(=気楽&楽しい)になる場所であってほしいという願いが込められています。通ってくる利用者さんはもちろん、職員も含めてそこに集う、全ての人が心穏やかに、楽しく仕事を学び、活躍できる場所を目指しています。

Q3:1日のスケジュールを教えてください。

朝は9:15から始まります。1コマは50分間で、仕事の合間に10分間の休憩があります。4コマ目まで仕事をしたら、掃除、振り返りをして15:00に終了です。

| 時間     | 内容              |
|--------|-----------------|
| 9:15~  | バイタルチェック・仕事内容確認 |
| 9:45~  | 朝礼、ラジオ体操        |
| 10:00~ | 1コマ目            |
| 10:50~ | 休憩(10分間)        |
| 11:00~ | 2コマ目            |
| 11:50~ | 昼休み(昼食)         |
| 12:50~ | 3コマ目            |
| 13:40~ | 休憩(10分間)        |
| 13:50~ | 4コマ目            |
| 14:40~ | 清掃→振り返り→タ礼      |
| 15:00  | 帰宅              |

Q4:どんなことをするのですか?

「eラーニングシステム」でITスキルを身に付けながら、「デスクワーク」中心の就労支援サービスを提供します。パソコンでの作業として、プログラミングやデータ入力、文書の作成、また、作成した文書を Web 上に公開したり、Web ライティング(構成されている項目に文章を考えて入力し編集する仕事)をしたりします。

その他、ヒバ油の販売へ向けて、ヒバ油を瓶詰めしたり、包装したりする作業も行います。



パソコンスペースはゆったり広々!



ヒバ油。お風呂に入れて芳香剤として、また、虫除けとしての効果もあります。



玄関を入ったところに、ヒバ油がディスプレイされていました。

### Q5:「eラーニングシステム」とは何ですか？



パソコンのモニターが2つ並べられていて、動画を見ながら、同時進行でパソコンを操作することができます。



休憩スペース。休憩時にみんなでおしゃべりしたり、お昼ご飯を食べたりする場所です。



### ※就労継続支援とは・・・

企業での一般就労が困難な方に対して、障害の状況に合わせて、働く機会や訓練の機会を提供する障害者総合支援法で定められた障害福祉サービスの一つです。就労継続支援には就労継続支援 A 型と就労継続支援 B 型の2つがあります。CocoRa は、就労継続支援 B 型事業所です。

### ※就労継続支援 B 型事業所とは・・・

生産活動やその他の活動の機会を提供し、就労に必要な訓練やその他の必要な支援を行う障害福祉サービスです。

年齢制限はなく、心身の状態に合わせて自分のペースで働くことができ、生産活動に取り組んだ分の報酬として「工賃」が支払われます。

パソコンやスマートフォン、タブレット端末などを用いて、インターネット上の動画や教材などによる学習ができるサービスです。

CocoRa では、障害のある方向けの「eラーニングシステム」を導入し、初歩的な段階からのITスキル学習を行います。eラーニングシステムは動画が中心で、実際に操作しながら実践的な「学び」と「働く」をサポートすることが可能です。

### Q6:どんな仕事をするのですか？

一般企業や役所などから発注された資料作成やデータ整理などの作業を始め、ホームページ管理や動画制作など幅広い業務に、学びながら取り組みます。また、気分転換を兼ねた軽作業も予定しています。

### Q7:見学や体験はできますか？

随時受け付けています。森田養護学校の生徒さんの実習も受け入れできますので、是非お越しください。

※次年度、中学部や高等部の生徒の事業所見学だけではなく、保護者対象の事業所見学の候補です。是非ご参加ください。

### Q8:相談スペースがありますが、どんな時に使いますか？

CocoRa では、一人一人の体調や、今の状況を大切にし、それぞれが自分らしく働けるよう、スタッフと相談しながら仕事の内容を一緒に決めていきます。そんな相談をする時に、相談スペースを使用します。

